

1 アオハリガネワラビ



①葉柄と中軸が淡緑色～わら色のハリガネワラビ。
②葉脈は単条、縁まで。葉裏に腺点がある。

2 イッポンワラビ



①最下羽片の基部は極端に小さい。
②ソーラスは円形～楕円形。包膜はない。

3 イヌガンソク



①2形性（栄養葉と孢子葉は異なる）。
②孢子葉は秋になると出てくる。

4 イワシロイノテ



①中軸につく鱗片は軸に圧着しないで、開出。
②中軸につく鱗片は卵状披針形～披針形。

5 ウスゲミヤマシケシダ



- ①葉の毛（鱗片）が少ないシケシダの仲間。
- ②葉柄の基部から粘液を分布する。

6 エムヒカゲノカスラ



- ①主茎が地をはい、孢子囊穂を立ち上げる。
- ②本種は孢子囊穂に枝のないタイプ。

7 エゾメシダ(上)

29 ミヤマメシダ(下)



- ①エゾメシダの鱗片は茶色～茶褐色、多少ねじれる。
- ②ミヤマメシダの鱗片は光沢のある黒、著しくねじれる。
- ③包膜は、どちらも縁が細裂する。

8 オオバショウマ



- ①下部羽片は次第に小さくなる。
- ②葉柄、中軸に鱗片密生。包膜は円腎形。